

年度 2007 学期 前期	曜日・校時	火 1	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	フランス語 French					
対象年次	1 年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	Ea・b、Eg・h		科目分類	外国語科目(フランス語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 松藤 英恵 / Eメールアドレス: cinema.naga2@hotmail.com / 研究室: 全学教育非常勤講師室 / オフィスアワー: 火曜日 10:30 ~ 12:30 / 木曜日 14:30 ~ 15:30						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: フランス語の基礎を身につけること、自分に関する表現も含め、簡単なコミュニケーションが出来るようになることを目標とします。また、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使っの表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。 授業方法: 教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオや CD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。 授業到達目標: 簡単な挨拶、自己紹介と人物紹介を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定 5 級に合格できるよう指導します。						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 練習問題オリジナルプリントを使っの文法解説と筆記演習、教科書と CD を使っの発音練習、同じく教科書と CD を使っのヒアリング練習、教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材をを使用中の実践的な会話演習、日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使っのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の 5 つの要素を網羅して授業を進めます。 第 1 回 オリエンテーション、アルファベ、綴りと発音の確認 第 2 回 簡単な自己紹介 第 3 回 " 第 4 回 第 1 課 挨拶 第 5 回 " 単数と複数、不定冠詞、疑問文と答え方 第 6 回 第 2 課 出会い、国名・国籍 第 7 回 " 主語人称代名詞、動詞 être 第 8 回 " 名詞・形容詞の性数一致 第 9 回 第 3 課 コミュニケーション 第 10 回 " 指示形容詞、人称代名詞の強勢形 第 11 回 " 動詞 avoir、il y a、否定の表現 第 12 回 第 4 課 職業 第 13 回 " 所有形容詞、疑問形容詞 第 14 回 口頭試験 第 15 回 定期試験 注意!: 上記の E メールアドレスには、一部の携帯電話を使っの送受信が出来ないことがあります。送受信できない場合は、別の携帯電話或いはパソコンのアドレスから送信し直して下さい。						
キーワード	フランス語を使っ、世界にはばたこう!					
教科書・教材・参考書	教科書: 『P.P.P. NOUVELLE EDITION((2004 年改訂版) ペー・ペー・ペー)』(第三書房) 辞書: 仏和辞典を 1 冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。 旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべて A4 サイズに統一します。					
成績評価の方法・基準等	期末定期試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ / 学習・教育目標						
備考(準備学習等)	繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット等を使っ、フランス語圏の様々な時事問題や文化などの情報に、積極的に触れましょう。					